

船舶事故等調査報告書

平成23年2月24日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

| | | |
|-------------|---|--|
| 事故等番号 | 2010長第92号 | |
| 事故等種類 | 乗揚 | |
| 発生日時 | 平成22年3月6日 18時30分ごろ | |
| 発生場所 | 長崎県五島市福江港 福江港2号防波堤灯台から真方位271°300m 付近 (概位 北緯32°42.0′ 東経128°51.1′) | |
| 事故等調査の経過 | 平成22年10月13日、本事故の調査を担当する主管調査官（長崎事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。 | |
| 事実情報 | | |
| 船種船名、総トン数 | 漁船 第五十二 ^{しょうとく} 昭徳丸、339トン | |
| 船舶番号、船舶所有者等 | 131319、富栄海運有限会社 | |
| 乗組員等に関する情報 | 船長、四級海技士（航海） | |
| 死傷者等 | なし | |
| 損傷 | プロペラに曲損及び欠損 | |
| 事故等の経過 | 本船は、船長ほか7人が乗り組み、船首約3.0m、船尾約4.1mの喫水で、福江港丸木岸壁に着岸作業中、平成22年3月6日18時30分ごろ、船底が浅所に接触した。 | |
| 気象・海象 | 気象：天気 曇り、風向 北北東、風力 4 海象：潮汐 低潮時、波高 約0.5m | |
| その他の事項 | 船長は、丸木岸壁に着岸した経験があったことから、海図などにより本事故発生場所付近の水深を確認していなかった。 | |
| 分析 | 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析 | あり なし なし 本船は、福江港において着岸作業中、水深の確認を行っていなかったものと考えられる。 |
| 原因 | 本事故は、夜間、本船が、福江港において着岸作業中、水深の確認を行っていなかったため、浅所に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。 | |